

令和8年度 由木中央小学校の教育について

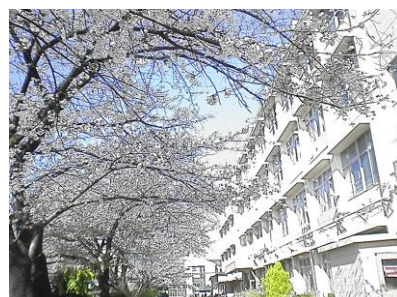
由木中央小学校長 松山 大作

子どもたち一人一人には、無限の可能性が秘められています。その可能性を信じる愛情の深さの分だけ、若き大樹は伸び伸びと、たくましく根を張り広げていくはずです。

「教育」とは、共に学び、共に成長する「共育」であり、学校と家庭と地域とが、子どもたちの未来のために協力して進みゆく「協育」です。これからも保護者や地域の皆さまと共に、「輝く瞳 豊かな心 笑顔あふれる学校」を目指してまいります。

教育目標

すすんで学習しよう
あったかい心をもとう
じょうぶな体をつくろう



本校の主な教育

確かな学力の定着

- ◇子どもが主体となる授業の実現
- ◇「個別最適・協働的な学び」を実践する授業の展開
- ◇問題解決型学習の重視
- ◇言語活動と言語環境の充実
- ◇一人一台の学習用端末の効果的な活用
- ◇「はちおうじっ子ミニマム」による基礎・基本の定着
- ◇週2回の朝学習「算数タイム」を活用した基礎学力の向上
- ◇教科担任制の実施による質の高い授業の展開（3年生以上）

小中一貫教育の推進（由木中学校と由木東小学校との連携充実）

- ◇由木中学校との交流（はちおうじっ子サミット・運動会係活動支援・部活動体験等）
- ◇由木東小学校とのオンライン交流（ビブリオバトル等）
- ◇3校共通した生活指導の実践（挨拶指導、あ・じ・み・こ・し）

人権教育の充実

- ◇挨拶の励行と丁寧な言葉づかいの実践
- ◇「弁護士による人権授業」や「情報モラル教育（SNSの適切な利用）」の実施

生活指導の充実

- ◇いじめ防止に向けた教員の研修と年間3回の「いじめ防止授業」の実施
- ◇「いじめ認知のための支援タイム（毎週1回）」と「いじめ対策委員会」による組織的対応。
- ◇不登校傾向の児童への居場所づくり・学びの保障

特色のある教育の推進

- ◇「由木っ子タイム」「近隣保育園・由木中学校との交流」等の異学年交流の実施
- ◇地域の強みを生かしたキャリア教育の推進（生活科・総合的な学習の時間）
- ◇地域人材や地域伝統文化を活用した郷土教育の実践